

令和 8 年 2 月 5 日  
清掃・リサイクル部  
事 業 課

## フードシェアリングアプリ事業者との連携による食品ロスの削減について

### 1 主旨

食品の販売事業者において販売することができずに廃棄されてしまう食品ロスの削減につなげるため、売れ残りの可能性のある商品に関する情報をアプリを通じて消費者に発信し、消費につなげる取組みを促進する。

### 2 フードシェアリングアプリを通じた廃棄ロスの削減

パンや総菜などの消費期限が短い商品は、夕方の時間帯などに価格を下げて販売して消費につなげるケースも多いが、店舗を訪れた消費者にしかアピールできず、また、消費者にとっても店舗を訪れなければ該当商品の有無を確認することができない。

そこで、区において、フードシェアリングアプリを提供する事業者と「連携協定」を締結し、販売事業者がアプリを通じて売れ残りを防ぎたい商品の情報を消費者に発信する取り組みを促進する。

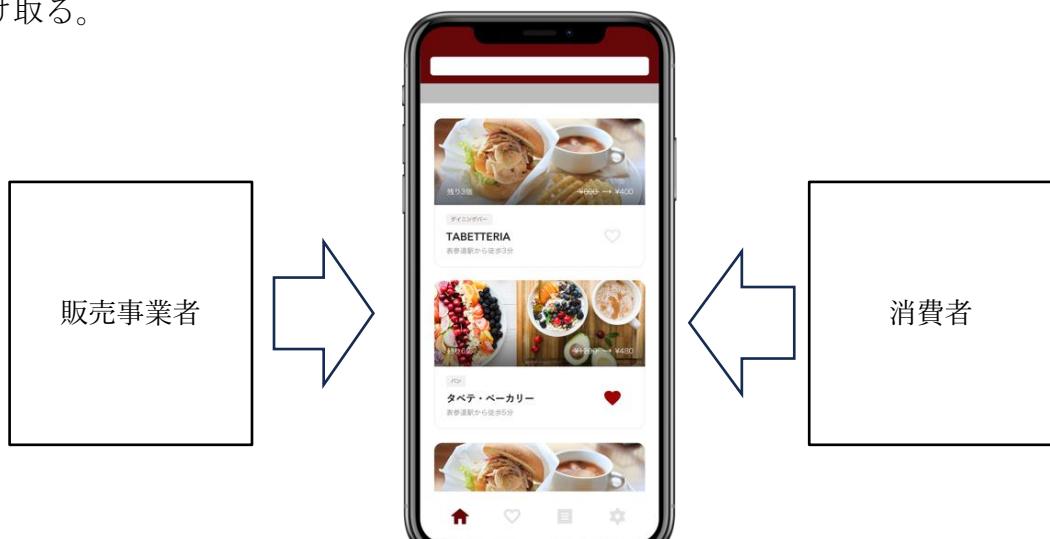
### 3 フードシェアリングアプリ「TABETE」の概要等

#### (1) 運営事業者

株式会社コードクリッキング

#### (2) アプリの主な機能

- ① 販売事業者は、アプリに事業者登録を行い、売れ残りのリスクのある商品がある場合は、その商品の情報（画像・残り個数・価格）を登録する。
- ② アプリにユーザー登録を行っている消費者に該当商品や店舗の情報が発信され、消費者はクレジットカード決済により商品を購入。営業時間内に店舗を訪れ、商品を受け取る。



TABETE 商品画像、残り個数、価格、店舗情報（最寄り駅等）

### (3) アプリの利用費用等

- ① 販売事業者
  - i ) 登録時の初期費用として1店舗につき 11,000円
  - ii ) アプリを通じて商品が購入された場合の商品代金の30%
- ② 消費者 無料

### (4) アプリへの登録実績

- ① 登録店舗 約3,300店舗 (区内では約100店舗)  
※ パン、ケーキ、総菜などを扱う店舗の登録が多い。
- ② 登録消費者 約120万人 (区内鉄道駅で登録している消費者は約3万人)

### (5) 他自治体における連携状況

さいたま市、横浜市、浜松市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、福岡市、新宿区、墨田区、品川区、目黒区、大田区、渋谷区、杉並区、豊島区、荒川区、足立区など

### (6) 連結協定の締結による主な相互メリット

- ① 区が、アプリの利用について、区内事業者や区民への広報・周知を行うことによる登録事業者・登録消費者の増加
- ② アプリ提供事業者は、区内事業者が登録する際の初期費用 (11,000円) を無料とする期間限定のキャンペーンを提供
- ③ サービスを利用する店舗・区民の拡大による食品ロスの削減

## 4 今後のスケジュール

- 令和8年2月下旬 アプリ提供事業者と連携協定を締結
- 3月～ 区内事業者や区民へのアプリ利用に関する広報・周知
- 3月～6月 区内事業者への登録初期費用無料キャンペーンの実施